



Hakuyosha
CLEAN LIVING



2018年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年4月26日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 白洋舎
コード番号 9731 URL <http://www.hakuyosha.co.jp/>
代表者 (役職名)代表取締役 社長執行役員 (氏名)松本 彰
問合せ先責任者 (役職名)経理部長 (氏名)丹羽 義己 (TEL)03(5732)5111
四半期報告書提出予定日 2018年5月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2018年12月期第1四半期の連結業績(2018年1月1日~2018年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年12月期第1四半期	10,963	3.2	△619	—	△589	—	△444	—
2017年12月期第1四半期	10,620	3.8	△677	—	△581	—	△296	—

(注) 包括利益 2018年12月期第1四半期 △534百万円(—%) 2017年12月期第1四半期 △194百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2018年12月期第1四半期	△116.65	—
2017年12月期第1四半期	△77.55	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2018年12月期第1四半期	38,496	9,740	23.6
2017年12月期	37,749	10,411	25.8

(参考) 自己資本 2018年12月期第1四半期 9,077百万円 2017年12月期 9,757百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2017年12月期	—	25.00	—	35.00	60.00
2018年12月期	—	—	—	—	—
2018年12月期(予想)	—	25.00	—	25.00	50.00

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2 2017年12月期期末配当金の内訳 特別配当 10円

3. 2018年12月期の連結業績予想(2018年1月1日~2018年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	25,600	0.2	1,300	△2.8	1,350	△4.4	800	△24.5	210.08
通期	50,800	0.1	1,350	1.0	1,450	△1.7	800	△23.8	210.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 __社 (社名) 、除外 __社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2018年12月期1Q	3,900,000株	2017年12月期	3,900,000株
2018年12月期1Q	92,121株	2017年12月期	91,914株
2018年12月期1Q	3,807,983株	2017年12月期1Q	3,822,962株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2018年1月1日～3月31日)におけるわが国経済は、企業収益や所得の改善が進み、景気は緩やかな回復基調にあります。一方、海外情勢については不安定な様相が見られる等、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社グループでは、「CLEAN LIVING 2020」をテーマとする新中期経営計画(2018年から3ヵ年)をスタートさせ、「人々の清潔で快適な生活空間づくり」に貢献するための成長戦略の遂行や構造改革等に努めております。

当社グループの第1四半期における業績は、衣料品のクリーニングを主軸とする事業の性質上、季節的要因から例年低位に推移する傾向にあり、当社グループの売上高は109億6千3百万円(前年同四半期比3.2%増)、営業損失は6億1千9百万円(前年同四半期は営業損失6億7千7百万円)、経常損失は、5億8千9百万円(前年同四半期は経常損失5億8千1百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は、4億4千4百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失は2億9千6百万円)となりました。

セグメント別の状況は、次のとおりであります。

<クリーニング>

個人向けのクリーニング事業については、中長期的に需要が減少する傾向にある中、「新規のお客さまを増やす・継続してご利用いただく・より多くご利用いただく」ことを目的とし、お客さまから直接ご意見を頂戴する懇談会を開催する等、お客さまの声を聴く活動を推進し、品質やサービスの差別化に努めております。

クリーニング事業の第1四半期における業績は、季節的要因から例年低位に推移する傾向にあります。当第1四半期においては、昨年度よりも早期に衣替えが始まったことに伴い、防寒衣料等のクリーニング売上が増加したことから、クリーニング事業の売上高は44億5千6百万円(前年同四半期比4.7%増)、セグメント損失(営業損失)は7億3千9百万円(前年同四半期はセグメント損失(営業損失)9億1千8百万円)となりました。

<レンタル>

レンタル事業は、ホテル・レストラン等に向けたリネンサプライ部門と、コンビニエンスストアや外食産業、食品工場等に向けたユニフォームレンタル部門とに大別されます。

リネンサプライ部門については、新規得意先との取引が堅調に推移したこと等により、増収となりました。

ユニフォームレンタル部門については、ナショナルチェーンや食品関連企業からの需要の増加等が、売上増に寄与しました。

これらの結果、レンタル事業の売上高は58億7百万円(前年同四半期比3.6%増)となりましたが、工場設備の増強等に伴う減価償却費の増加等から、セグメント利益(営業利益)は4億3千8百万円(前年同四半期比15.1%減)となりました。

<不動産>

不動産事業では、不動産の賃貸および管理・仲介を行っております。

売上高は2億3百万円(前年同四半期比1.9%減)、セグメント利益(営業利益)は1億7百万円(前年同四半期比0.5%増)となりました。

<その他>

その他事業については、連結子会社においてクリーニング機械等の売上が減少したこと等から、その他事業の売上高は12億2百万円(前年同四半期比17.1%減)、セグメント利益(営業利益)は、3千9百万円(前年同四半期比52.1%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ7億4千6百万円増加し、384億9千6百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金の増加2億9千1百万円、繰延税金資産の増加2億1千2百万円等により5億9千3百万円増加し、141億1千9百万円となりました。

固定資産は、土地の増加1億7千3百万円等により1億5千2百万円増加し、243億7千7百万円となりました。

また、流動負債は、未払法人税等の減少1億9千7百万円等により2億8百万円減少し、121億6千4百万円となりました。

固定負債は、長期借入金の増加18億円等により16億2千6百万円増加し、165億9千2百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の減少5億8千万円等により6億7千1百万円減少し、97億4千万円となりました。

自己資本比率は前連結会計年度末の25.8%から23.6%へ減少いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の連結業績予想につきましては、2018年2月14日に発表いたしました2018年12月期の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	983	1,275
受取手形及び売掛金	4,617	4,537
たな卸資産	6,908	6,902
繰延税金資産	227	440
その他	818	995
貸倒引当金	△30	△32
流動資産合計	13,525	14,119
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	20,760	20,807
減価償却累計額及び減損損失累計額	△14,221	△14,292
建物及び構築物(純額)	6,538	6,515
機械装置及び運搬具	9,761	9,816
減価償却累計額及び減損損失累計額	△7,291	△7,280
機械装置及び運搬具(純額)	2,469	2,535
土地	6,705	6,879
その他	4,740	4,797
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,328	△3,403
その他(純額)	1,412	1,394
有形固定資産合計	17,125	17,324
無形固定資産	534	604
投資その他の資産		
投資有価証券	3,487	3,327
差入保証金	1,709	1,706
繰延税金資産	1,293	1,339
その他	167	170
貸倒引当金	△94	△94
投資その他の資産合計	6,563	6,448
固定資産合計	24,224	24,377
資産合計	37,749	38,496

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,138	3,112
短期借入金	2,649	2,817
1年内返済予定の長期借入金	2,710	2,799
1年内償還予定の社債	45	45
未払法人税等	322	125
賞与引当金	224	381
その他の引当金	22	18
その他	3,259	2,864
流動負債合計	12,372	12,164
固定負債		
社債	72	62
長期借入金	7,362	9,162
役員退職慰労引当金	39	35
役員株式給付引当金	58	64
環境対策引当金	63	61
退職給付に係る負債	3,314	3,306
資産除去債務	267	274
その他	3,786	3,623
固定負債合計	14,965	16,592
負債合計	27,338	28,756
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,410	2,410
資本剰余金	1,503	1,503
利益剰余金	4,744	4,164
自己株式	△294	△295
株主資本合計	8,363	7,781
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,127	1,008
為替換算調整勘定	△26	△23
退職給付に係る調整累計額	292	310
その他の包括利益累計額合計	1,394	1,295
非支配株主持分	653	662
純資産合計	10,411	9,740
負債純資産合計	37,749	38,496

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2017年1月1日 至2017年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年3月31日)
売上高	10,620	10,963
売上原価	9,748	10,026
売上総利益	872	937
販売費及び一般管理費	1,549	1,556
営業損失(△)	△677	△619
営業外収益		
受取配当金	7	9
受取補償金	19	24
為替差益	73	-
持分法による投資利益	9	6
その他	52	50
営業外収益合計	163	91
営業外費用		
支払利息	58	54
その他	8	7
営業外費用合計	66	62
経常損失(△)	△581	△589
特別利益		
固定資産売却益	0	-
特別利益合計	0	-
特別損失		
固定資産処分損	5	3
特別損失合計	5	3
税金等調整前四半期純損失(△)	△586	△592
法人税、住民税及び事業税	117	57
法人税等調整額	△437	△215
法人税等合計	△320	△157
四半期純損失(△)	△265	△435
非支配株主に帰属する四半期純利益	30	8
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△296	△444

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2017年1月1日 至2017年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年3月31日)
四半期純損失(△)	△265	△435
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△20	△119
為替換算調整勘定	63	0
退職給付に係る調整額	34	17
持分法適用会社に対する持分相当額	△6	2
その他の包括利益合計	71	△98
四半期包括利益	△194	△534
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△240	△543
非支配株主に係る四半期包括利益	45	9

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2017年1月1日 至 2017年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連 結損益計 算書計上 額(注3)
	クリーニング (百万円)	レンタル (百万円)	不動産 (百万円)	計 (百万円)				
売上高	4,256	5,604	207	10,068	1,450	11,518	△897	10,620
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△918	516	107	△294	82	△211	△465	△677

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ハウスクリーニングやモップ、マット等のレンタルを行うクリーンサービス事業や、洗濯機械販売、修理、各種洗濯資材・ユニフォームの製造、販売等を取扱う事業を含んでおります。
- 2 セグメント利益又はセグメント損失の調整額△465百万円には、セグメント間消去32百万円、各セグメントに配賦していない全社費用△498百万円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連 結損益計 算書計上 額(注3)
	クリーニング (百万円)	レンタル (百万円)	不動産 (百万円)	計 (百万円)				
売上高	4,456	5,807	203	10,467	1,202	11,670	△707	10,963
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△739	438	107	△192	39	△153	△465	△619

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ハウスクリーニングやモップ、マット等のレンタルを行うクリーンサービス事業や、洗濯機械販売、修理、各種洗濯資材・ユニフォームの製造、販売等を取扱う事業を含んでおります。
- 2 セグメント利益又はセグメント損失の調整額△465百万円には、セグメント間消去24百万円、各セグメントに配賦していない全社費用△490百万円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。